

○生駒市及び開発業者の住民説明会を早急をお願いしたい。

1. 今回の開発に関しては、自治会には2年近く、生駒市からも、開発業者からも、詳細について進捗に応じた説明が全くなく、住民の不安と生駒市への不信感が募っています。
2. 自治会長から業者に何度か説明会の申し入れをしても「会社の方針として地元説明会は行いません」との回答で、その後当自治会へは何の連絡もありません。
3. 2月2日になって突然、地区計画の変更についての通知を受け、しかも、通知後約1か月ほどの間に公述申出書を提出しなければ公聴会で意見も述べられないという拙速な対応に、自治会役員及び自治会員のほとんどがとても困惑しています。
4. 開発地に隣接している数軒に2年前に業者から説明があったが、その後全く説明がなく、当初は、住宅地開発のみと聞かされていたが、生駒市からはそれとは異なった地区計画が発表されました。

○子どもの通学の安心安全の立場から、自治会役員会で諮った結果、国道168号線と、生駒東小学校西側の道路をつなぐ計画に反対します。

1. 生駒東小学校西側の道路は全く幹線道路としての体をなしていない生活道路であり、そのうえ交差する場所が小学校の学童保育の真正面であり、すぐ北には、なばた幼稚園があり、通学、通園の通学路になっています。通勤者の通り抜けと登園、登校の時間帯とも重なり、園児児童生徒が著しく危険にさらされます。
2. 壱分北地区の開発地からの道路が、生駒東小学校西側の道路とつながれば、壱分北地区の住民の車両だけでなく、阪奈道路に向かう他の車両の格好の通りぬけの道路となってしまう、今以上の交通量になり、壱分北地区の住民と東生駒の住民にとって、さらに危険度が増すこととなります。両地区住民にとって決してプラスにはなりません。
3. 以上の理由から、開発地区の東端は歩道のみとし、遮断することを望みます。

○介護施設は車両や救急車、人の出入りが頻繁になり、騒音も多くなります。都市計画で示された場所はすでに住宅が隣接しており、すでに住まれている住宅を見下ろす位置にあり、すでに民家があるところに新たに建設するのは不適切です。周りの住環境にあった場所に設置すべきであります。